

あれこれファレンス



ミニ図書館だより【なんでも質問箱】

No. 196

平成26年12月1日

熊本県立図書館発行

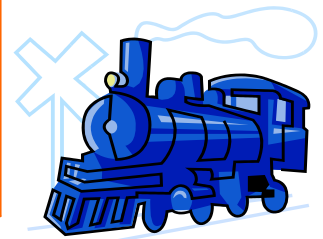
“レファレンスサービス”ってなに？

図書館で所蔵しているたくさんの資料を活用して、皆さんが調査したい内容をより早く正確に調べられるようお手伝いするサービスのことです。

この「あれこれファレンス」では、過去に受けたさまざまなレファレンスの中から、いくつかの興味深い事例をピックアップして紹介します。へえ～こんな質問も図書館で分かるのか！と、楽しめること間違いなしです。

Q. おたずね

網田焼の里資料館のイベントに参加するために網田駅で降りたとき、「最古の駅」という言葉が聞こえました。何が最古ですか。その後、夕陽がきれい聞き、御輿来海岸に行きました。きれいな夕陽でしたが、御輿来という名前が気になりました。名前の由来がわかりますか。



A. こたえ

網田駅は、三角線が開通した明治32年に住吉駅とともに誕生しました。住吉駅は平成13年に解体され、当時の駅舎の面影を残すのは網田駅だけになりました。網田駅駅舎は、現存する駅舎では県内最古の木造駅舎といわれています。現在では、地元網田倶楽部の手により「駅を核としたまちづくり」の取り組みの一環として駅カフェがオープンしています。

御輿来海岸は干潟のしま模様と夕陽が美しく、サンセットウォーキングや夕陽をバックにした演奏会等が行われています。

「御輿来」というのは、『風土記』や『日本書紀』によると「景行天皇（第12代天皇）が熊襲征伐のため芦北や八代方面に来られた時、ここに輿をとめられた」ところから、その名がおこったといわれています。国道沿いにある記念碑は、この言い伝えを後世に残そうと網田村の人々が建てたそうです。

《参考資料》

『JR全線・全駅舎（西日本編）』学習研究社 2004年 【C686.5/㍷】

『バス・電車で行くくまもと歴史散歩』熊本日日新聞社 1996年 【C290/㍷】

『熊本の名勝百景』熊本の風土とところ編集委員／編集 熊本日日新聞社

1979年 【C290.8/㍷】

『熊本県の自然100選』朝日新聞熊本支局／編 葦書房 1968年 【C290/㍷】

『宇土市厠辞典』熊本県青年塾 1999年 【C290B/㍷】

『宇土の今昔百ものがたり』宇土市史編纂委員会／編集 宇土市 2009年 【C210B/㍷】

『週刊歴史でめぐる鉄道全路線（国鉄・JR）創刊2号』朝日新聞出版

2009年【C686.2/㍷】



おといあわせ 熊本県立図書館

〒862-8612 熊本市中央区出水2-5-1

TEL:096-384-5000 FAX:096-385-4214 Email:toshokan@pref.kumamoto.lg.jp

（裏面もあります。）